

ハヤカワ・ミステリ (ポケミス)
2000番特別作品

無料
配布

100
倍面白くなる
読書ガイド

両京十五日

ば・はくよう／マー・ボーヨン

馬伯庸

齊藤正高、泊功＝訳

早川書房

あらすじ

明の皇太子・朱瞻基は遷都を図る皇帝に命じられ、首都の北京から南京へと遣わされる。だが、長江を下り南京へと到着したその時、朱瞻基の船は爆破されてしまう。さらに皇帝が危篤との報が届き、朱瞻基は窮地で出会った、呉定縁、于謙、蘇荊溪らと北京帰還を目指す。幾千里にも亘る決死行が、今始まる――！



時代背景と用語集

明 (大明)

1368年に成立し1644年まで存続した中国の王朝。長江下流部の江南地域で興り、元の勢力を北へ追いやって中国を統一した。

初代皇帝 洪武帝・太祖 (朱元璋)

在位 1368～1398 現在の安徽省鳳陽の貧しい農家の子に生まれ、飢饉で家族を亡くし、乞食僧をへて、白蓮教徒が中心となった紅巾軍に身を投じ、後に金陵 (南京) を首都として帝位についた。

第二代皇帝 建文帝 (朱允炆)

在位 1398～1402 洪武帝の孫。靖難の役で永楽帝に敗北し、行方不明となる。

第三代皇帝 永楽帝・太宗 (朱棣)

在位 1402～1424 洪武帝の四男。はじめは北平 (北京) の燕王に封じられていたが、靖難の役で皇位を篡奪すると、北方のモンゴルへ五度の遠征を行い、鄭和率いる艦隊を南海に派遣した。

比類なき華文冒険小説の 一大傑作！

りょう きょう

両京十五日

ば・はくよう／マー・ボーヨン

馬伯庸

齊藤正高、泊功＝訳

好評
発売中

I 凶兆



定価：2,420 円 (税込)
ISBN：978-4-15-002000-2

II 天命



定価：2,530 円 (税込)
ISBN：978-4-15-002001-9

早川書房

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2 電話 (03) 3252-3111
<https://www.hayakawa-online.co.jp/>

第四代皇帝 洪熙帝 (朱高熾)

作中の1425年時点の皇帝であり、皇太子の朱瞻基の父である。在位中に地震が頻発した。

靖難の役 (靖難の変)

1399年に当時燕王だった朱棣が建文帝に対し蜂起した内乱。足かけ4年にわたって戦われ、朱棣は南京を陥落させ、甥の皇位を奪って永楽帝として即位した。

明の国都

建国当時、洪武帝は明の国都 (首都) を金陵 (南京) に置いたが、永楽帝は建文帝から帝位を奪うと、1406年から北平 (北京) に遷都を開始し、宮殿として紫禁城を建築した。1421年に北京への遷都は完了したが、本作の物語は洪熙帝が正都北京から留都 (かつての都の意) の南京へと再遷都する計画を立て、皇太子の朱瞻基を派遣するところから始まる。ふたつの都市は直線距離では1,000kmほど、陸路で1,200kmほど離れており、その間には黄河と長江の二つの大河、そしてそれらを横断する大運河の水路がある。

白蓮教

南宋時代から続く浄土教系の仏教結社。民間に普及して、しばしば叛乱を起こした。当初は白蓮教の紅巾軍だった朱元璋も、明の建国後は白蓮教を邪教として弾圧したが、各地の信仰は以降も根強く、清の時代まで影響を及ぼすことになる。

鄭和の西洋下り

1405年 (永楽5年)、鄭和は35歳で第1次航海に出発し、以後、全7回の航海に出た (1407年、1409年、1413年、1417年、1421年、1431年)。逗留地はジャワ、スマトラ、カリカット、ホルムズ、アフリカ東岸などにおよぶ。第1次航海は船団62隻、乗員27,800名余とされる。船の大きさは全長150m、8,000tクラスの船であった。鄭和は1422年に第6次航海から帰国し、本作で描かれる年 (1425年) には南京守備太監になっていた。

裏面に人物相関図あり!!

